

2024年1月19日

国連責任投資原則（PRI）の協働エンゲージメント「Spring」への参画について

～投融資先企業の生物多様性保全に資する取組みを後押し～

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野俊亮、以下「当社」）は、国連責任投資原則（Principles for Responsible Investment、以下「PRI」）が新たに設立した、生物多様性に関する課題をテーマとした協働エンゲージメント・イニシアティブである「Spring」に参画することを決定しましたのでお知らせします。



- 2023年10月、東京で開催されたPRIの年次カンファレンス“PRI in Person”において生物多様性に関する協働エンゲージメントのイニシアティブ「Spring」が設立される旨発表。
- 当該イニシアティブは2030年までに生物多様性の喪失を食い止め、回復させるというグローバル目標に対し、機関投資家が最大限貢献することを目的に設立。
- 生物多様性に関する課題（森林喪失や土地劣化等）をテーマに、当該課題に対する影響が大きい企業を選定し、協働エンゲージメントを通じて、企業の課題解決に向けた取組みを後押しする。

当社を含む第一生命グループは、地球環境への取組みとして、気候変動問題を最重要課題と位置づけており、自然資本・生物多様性の保全についても、気候変動問題と密接に関わる重要なテーマであると認識しています。こうした中、第一生命ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：菊田 徹也）は、自然関連リスクの体系的な把握・開示に向けたフレームワーク構築を目指す TNFD¹の理念に賛同し、2022年10月に TNFD の議論をサポートするステークホルダーの集合体である TNFD フォーラムに参画、2023年12月には TNFD Adopter²に登録³しました。

当社は、「自然資本の持続可能性向上」を責任投資の重点課題として位置づけており、TNFD に沿った自然関連リスク・機会の分析を実施するとともに、当該分析結果等を踏まえて投融資先企業とのエンゲージメントを行っています。こうした取組みに加え、「Spring」に参画し、投資家声明（Investor Statement⁴）に賛同する事により、責

¹ Taskforce on Nature-related Financial Disclosures: 2021年6月に発足した自然関連の財務情報を開示する枠組みの開発・提供をめざす国際イニシアティブ。





² TNFD 提言に基づく開示を行う意思を TNFD のウェブサイトに登録した企業等のこと。登録した企業は 2024 年度分もしくは 2025 年度分のいずれかにおいて TNFD 提言に準拠した開示を行う必要がある。

³ https://www.dai-ichi-life-hd.com/newsroom/newsrelease/2023/pdf/index_025.pdf

⁴ <https://www.unpri.org/download?ac=19371>

任ある機関投資家として、生物多様性の保全・回復に向けた投融資先企業との建設的な対話をさらに推進し、持続可能な社会の形成に貢献していきます。

《ご参考》当社が参画している主な協働エンゲージメント

協働エンゲージメント	概要	参画時期
 一般社団法人 生命保険協会	「スチュワードシップ活動ワーキング・グループ」において、書簡の送付・対話を通じた協働エンゲージメントを実施	2017 年度 (スチュワードシップ活動 WG での協働対話の開始)
	温室効果ガス排出量の多い企業に対し、排出量削減に向けた取組みやその情報開示などについて建設的対話を行う、機関投資家のイニシアティブ	2019 年8月
 一般社団法人 協働対話フォーラム <small>Institutional Investors Collective Engagement Forum</small>	機関投資家による協働エンゲージメントの支援を目的に設立されたフォーラム	2020 年3月
	人権問題を中心とした「社会(Social)」の課題をテーマに、協働エンゲージメントを通じて企業の取組みを促進することを目的として設立された機関投資家のイニシアティブ	2022 年 12 月